

大神 典子さん

徳島県出身。日本体育大学卒業後、徳島大学教育学部附属中学校で1年間教壇に立つ。同郷のご主人が山形大学に赴任していたため、結婚を機に、山形市へ。富澤学園山形城北高校で教鞭を執り、バレーボール部の指導にもあたる。徳島在住の父親の介護のため退職。介護していた間は、徳島、山形間1,000キロを2匹の愛犬を乗せ、自ら運転し、山形と徳島との往復をしていた。ご主人は、山形大学地域教育文化学部教授で女子バスケットボール監督の大神訓章氏。次女はバスケットボールプレイヤー、全日本代表、JXサンフラワーズ所属 大神雄子さん。



大福をいただいてから、すっかりハマってしまいました。中でもシンプルな生クリーム大福が大好きです。戸田屋さんで一番いいのは、お店に行きますと、応対してくださる方達のきめ細やかさです。私は、四国の徳島から主人と2人、山形に来て生活して、身内がいらないんです。主人とはお見合いで「知らない土地では人と人との出会いを大切に生きていこう」という一言で結婚を決めました。おつきあいに気を配り

おかめファンクラブ

戸田屋のお客様にはおなじしうかがいしました。

インタビュー #012

娘(雄子さん)のツイッターには、山形は米と戸田屋の大福が美味しと書いてありました。今はJXに所属していますが、どのチームにも友達がいるので、自分のチームと相手のチームにも大福を届けてついでにわゆるんです。全日本のチームの選手達にも持つて行くので、みんな知っていますよ。

山大のバスケット部の学生はみんな娘みたいなんです。試合が近くなると練習で遅くなってちゃんと食べていないんじゃないかと、家に呼んだり、外の練習先にお弁当を届けたり。うちの娘も沢山の人の応援していただいて、お世話になつているので、私が出来る恩返しかなと思つています。私、おかめのシールを取つておいて、落ちこんでいる子のホッペに貼つてあげるの。ニコッて笑顔になるシールが好きです。

春号

菓造専心
戸田屋正道
とだやしやうどう

http://www.toda-ya.com

おかめ新聞

おかめマーク、創業者のおばあちゃんに似顔絵です。当店のイメージキャラクターになりました。戸田屋正道のイメージにピッタリです。今では「おかめマーク」＝「戸田屋正道」になりました。

菓子職人日記

顔

戸田 正宏

若かりし頃、アランドロンやチャールズブロンソンが眉間に縦皺をたてて、渋い表情を作つてゐる姿に憧れていました。深い悩みや苦しみにじつと耐えている姿に男らしさを見いだし、カッコいいと思つていたのでした。

しかしこの頃は人相と心遣いに因果関係があることに気づきました。昔から四十歳過ぎたら自分の顔に責任を持って、と言われるように、顔つきは自分の意思でいかようにも変わります。顔は心の窓。心が

丸ければ穏やかな顔になり、心が荒めば荒んだ顔付きになります。昔は、少し陰のある生き方を良しとしたこともありましたが、歳を重ねるうちに必ずしもカッコいいとは思わなくなりました。むしろ穏やかで笑顔の絶えない顔つきのほうが周りに安らぎを与え、私も安心します。

友人で眉間に深い縦皺をつくつてゐる人がいます。長年、営業本部長の要職にあつて苦労してきたので、しかたないでしょうが、それを論ずうち、彼はその日から心遣いを改めようと努力してくれました。縦皺を早く無くそうとセロテープで貼つて伸ばしたりしていますが、最近心遣いの改善と同時に少しづつ皺が目立たなくなつてきたように思います。

食品の誤解

あれこれ 紅鮭

磯部理念を勉強していると、食品の裏側が実によく見えてきます。

菓子とは直接関係ありませんが、最近の塩鮭は国内もの輸入ものを問わず養殖魚が多く、着色料を混ぜて餌付けをし、紅鮭以上に赤く染め、しかも調味液に漬けた製品が主流です。店頭で販売するのに色もよく、切身は調味液をたっぷり含まれ、消費者に好まれているようです。

昔のように鮭一匹一匹に塩をすり込み、積み上げて塩加減を整えた紅鮭は残念な事に市場からほとんど姿を消してしまいました。前述の調味液には食品添加物が入る可能性も否定出来ません。

磯部晶策著、「食品を複眼で見る」より引用

人間が好き、お菓子大好き!

品質責任の証

当店では、磯部晶策氏(岩波新書「食品を見分ける」著者)の提唱する磯部理念に基づいた菓子づくりをしております。

お客様に心の底から喜んでいただける徹底した菓子づくりと、お客様の後ろ姿に「どうぞお幸せに」と祈りの販売をすることにより品性資本を蓄えることを当店の理念としております。

菓造専心
戸田屋正道
とだやしやうどう

http://www.toda-ya.com

〒990-0032 山形市小姓町1番32号
午前9時～午後7時(日曜・祝祭日6時半閉店)
定休日/元日、第二・第四水曜日(祝日・繁忙期は営業)

TEL.023-622-6728 FAX.023-634-6728

戸田屋界隈の元気なお店街ナビ

▲馬のかみしめ大豆 木綿豆腐
長井産の大豆を使用

▶人気No.1
たらぶく豆腐
袋から溢れそうなくらい
たっぷり!

第1回 旬豆腐 (株式会社 仁藤商店)

柴橋 若奈さん

TEL 023-622-2069 URL http://nitoh.jp/

編集後記

枕木の一本二つの春茜 水野 要

電車が走る度、枕木の一本一本の、鼓動のような響きを乗客に伝える。懐かしい人に逢いに行く時の胸の高鳴りのよつた。

歳時記では春の夕焼けの副題にある春茜。柔らかな夕焼けである。心をほぐす暖かさがあり、色彩からうける光は懐かしい思い出そのものである。

実にいい季節を迎えた。どこか遠くに旅に出ようか。読みかけの本を道連れにして。

(遊)

スタッフナビ

最終回 長い間ありがとうございました!

スタッフによるスタッフの紹介です。

製造・販売員
川田 美枝子

春のお菓子がたくさん並んで、みんなオススメです。

工場から出来上がって来たお菓子の袋詰めやお店の商品の補充の仕事が中心です。他には、私が出れる範囲で洗いのをしたり、工場と店の中継地として気をくばっているつもりです。特に心がけていることは、お店の商品がなくなることがないように、冷蔵庫の在庫も常に把握しています。